### 会議員でつくる広報誌 むかわる総合とだより





押して、押して 大玉転がし (穂別小学校運動会)

うわーたべれない(ひまわり保育所運動会)



咲かせよう人権の花運動 (鵡川中央小学校)

- 2 6月定例会
- 4 ここが聞きたい!!一般質問Q&A
- 7 呑員会レポート
- 9 北海道町村議会議員研修会・出前議会





むかわ町議会

〒054-8660 北海道勇払郡むかわ町美幸2丁目88番地



議会広報委員会

7 0145-42-2486 FAX 0145-42-4994

#### 般会計補正 9,732万円

#### 【6月定例会】

### 高齢者福祉施設へペレットボイラー設置補助

報

3人が一般質問をし、報告1件、

平成25年第2回議会定例会は、

6月19日の 議案9件、

日間開催され

発議1件、

**書8件を審議しました。** 

報告の件 会計繰越明許費繰越計算書 ・平成24年度むかわ町

生田地区は、

防火水槽の新

総務費1億5千万円は、

庁

円は、農業体質強化基盤整 筈間の無線化。 農業費2億2千867万

ポーツセンターの耐震改修 鵡川町民体育館と穂別ス 教育費3億685万円は

率の変更など。 係る特例措置や、 うもので、東日本大震災に ◆平成25年度むかわ町 延滞金の

【主な事業】 穂別町民センターのJア

新公営企業会計導入相談

を加える。

に関する件

「北空知圏学校給食組合\_

災害補償等組合規約の変更

▼北海道町村議会議員公務

合規約の変更に関する件

会計補正予算

北海道市町村総合事務組

議

合整備計画策定に関する件 ◆辺地に係る公共施設の総

330万円

町道田浦二宮6線の整備。 地総合計画で、 二宮地区と生田地区の辺 二宮地区は

改正する条例案 ◆むかわ町税条例の一部を

条例の一部を改正する条例 ◆むかわ町国民健康保険税

収に関する条例等の一部を 改正する条例案 ◆むかわ町税外諸収入の徴

相談します。

布設工事費

宫人

田浦地区の配水管

きるよう会計管理事務所に

地方税法の一部改正に伴

1 <del>T</del> 92万円

変わるので、円滑に移行で 営企業会計が新会計制度に 高田純市総務企画課主幹 平成26年度予算から、公

ケアハウス「こすもす」 のペレットボイラー導入 2千800万円

地域農業推進事業 1千985万円

疑

·フォレスト植樹 (深山アナウンサー、崔映画監督)

付金の詳しい説明を。 推進事業の消費安全対策交 大松紀美子議員 地域農業

留農薬の検査料金の助成で ボチャ作付け予定地と収穫 鎌田晃産業振興課主幹 した出荷前のカボチャの残

疑

子データ化する経費。

博物館管理運営事務

するのですか。 野田省一議員 どこに相談

・平成25年むかわ町上水道 化石発掘の追加委託作業 3千937万円 391万円

事業会計補正予算(第一号)

地籍修正図を3年間で電 796万円 324万円 卫足腿の 瓣觀

ものしり博士の

全国瞬時警報システムの通称。地震や 弾道ミサイル発射など国から住民 に直接情報を知らせることを目的に総務 省消防庁が整備、運用したもの。

特産物振興対策事業

す。

「Jアラート」

#### 質 疑

離は。 星正臣議員 対象戸数と距

戸地区は、曙第二水道利用 布設します。 のところに200メートル トル。田浦地区は水圧不足 組合19世帯で、4キロメー 渋谷昌彦建設水道課長

する条例の一部を改正する ◆むかわ町職員の給与に関

員給与を減額するもの。 基づき、特例措置として職 及び地方交付税法の改正に 及び臨時特例に関する法律 国家公務員の給与の改定

### (反対討論)

せません。 響するというやりかたは許 を下げなければ交付税に影 大松紀美子議員 国が給与

### (賛成討論)

が理解できるので賛成しま 三倉英規議員 提案の趣旨

賛成11人反対3人・可決

### 議員定数削減

る条例案 定める条例の ◆むかわ町議会議員定数を 一部を改正す

▼札幌航空交通管制部の存

するもの。 を次の一般選挙から14人に 討議を経て現在の定数16人 議会改革特別委員会等の

### 【反対討論】

反対します。 り方で、今定数だけを削減 することに疑義があるので 北村修議員 議会改革のあ

### (賛成討論)

け止め、定数削減すること 減少する中、町民の声を受 野田省一議員 町の人口が に賛成です。

賛成12人反対2人・可決

# 採択された意見書

見書 子力政策の転換と被災者支 援の抜本的強化を求める意 ◆放射能汚染水対策など原

度の高齢者」分離に反対す ▼介護サービスからの「軽

る意見書 P)交渉参加に断固反対す

地域や子どもの実態に応じ る意見書 金改正等に関する意見書 続・充実を求める意見書 た高校づくりの実現を求め に関する指針」の見直しと ◆平成25年度北海道最低賃 ◆道教委「新たな高校教育

改善、就学保障充実など? 堅持・負担率二分の一への に向けた意見書 おける教育予算確保・充実 014年度国家予算編成に い実現をめざす教職員定数 復元、「30人以下学級」の ◆義務教育費国庫負担制度

求める意見書 ◆地方財政の充実・強化を

### 議会臨時会の

教育施設整備基金

町議会臨時会では報告 5月23日第1回むかわ を承認し、議案2件を審 件、専決処分報告2件 し可決しました。

報

告

◆環太平洋連携協定(TP

◆報告2号

平成24年度な

0万円を繰越すものです。 務が生じない1億4千10 のうち、年度内に支払い義 の建設改良費に要する経費 許費繰越計算書報告の件 平成24年度病院事業会計

### 専決処分

のです。 4億8千万円を追加するも に伴い、その増額分として むかわ町一般会計補正予算 (第8号) ▶承認第1号 平成24年度 特別交付税の3月の確定

# 【歳出の主な内容】

公共施設長寿命化推進基金 ◆財産管理費 ▼教育総務費 億5千万円

伴い納税義務者の特例を廃 及び農用地総合整備事業に 条例の一部を改正する条例 ◆承認第2号 特別中山間保全整備事業 むかわ町税 2億円

表彰を受ける竹中議長

止するものです。

#### 議 案

に関する件 ◆議案第40号 財産の取得

かわ町病院事業会計繰越明

により建設後購入するもの 子育て支援住宅整備事業 2億537万円

むかわ町一般会計補正予算 ◆議案第41号 平成25年度 (第1号) 全国的に風疹の流行が拡

成するものです。 大し、特に妊娠初期の妊婦 ことから予防接種費用を助 の感染予防が重要である

120万円





表彰を受ける小坂議員

### 北海道町村議会議長 議員功労者表彰受賞

されました。 た。6月定例会に星副議長 25年以上) が表彰されまし たとして、竹中喜之議長 自治の発展に寄与貢献され 竹中議長から表彰状が伝達 小坂利政議員(議員として (議長として7年以上) と 北海議会議長会から地 方

むかわ議会だより

### こがたい 3人の議員から一般質問がありました。



### 円安 域 周知を図る のに



修 議員

残念なのは

変になっています、対策は。 北村修議員 資材や飼料の 高騰から営業、暮らしが大

きます。 協と連携して対策をしてい 騰が続いており、農、 安により、燃料や資材の高 フティネットなど農協や漁 者に厳しい状況です。 漁業 セー

して、 雇用安定、賃金改善を。 北村議員 指定管理者制度での 地域経済対策と

住民サービスを低下するこ となく、 高田純市総務企画課主幹 法人等への指定管理は、 きめ細やかなサー

直しがされています。 などで賃金、労働条件の見 確認しています。四季の館 ないよう配慮します。本年 労使が対等の立場で決定す は、 トの削減のしわ寄せとなら べきものですが、行政コス います。雇用及び賃金は 最低賃金の変更などを

今村繁吉産業振興課長

円

治のあり方を形骸化させる ものでないか。 つけでなされたが、 の改定が国の一方的な押し 北村議員 地方公務員給与 地方自

方交付税法の改正によって 方公務員の給与見直しを地 富士隆久副町長 国は、 地

どから、労務単価改定がさ

定で軽度者

ビスを民間活力で発揮して 北村 中で今回は苦渋の決断とし 国の考えによって影響する 踏まされていると感じます 国の来年以降の方向が見え て臨みました。 政の町で、今回は踏み絵を ないこと。交付税に頼る財 山口憲造町長

知徹底を。 険加入などの雇用改善で周 者に賃金引き上げ、 定となり、町としても事業 る設計労務単価の基準が改 北村議員 公共事業におけ 社会保

日本大震災での労働需要の 働環境の悪化が続いた。 の減少やダンピング受注の 激化などで賃金の低下、 渋谷昌彦建設水道課長 平成9年以降、 災害対策での対応な 建設投資

東 労

北村議員

です。 昨年から独自削減していて るもので不本意です。町は は自主性、自立性を阻害す 与削減を前提に減額するの 4300万円削減する予定 加えて削減は重い判断。 地方交付税を職員給 摘の賃金引き上げを要請し ていきます。 4月から適応しており、 %の引き上げであり、 れた。普通作業者で16・4 Q

А 許されないの保険はずしはでいます。 8月から生活保護費 引き下げ実施、 での軽度者外

き下げは、 北村議員 しに直撃するが 討されている 低所得者の暮ら 生活保護費の引

対応する予定です。 ます。国は、 の引き下げは8月 課長 生活保護費 奥村誠治町民生活 を受けないように 保護費が他へ影響 実施ですすめてい 生活



ねらいをさだめて

が介養護 す。

から外されようとしていま 援)のサービスが保険該当

町も

れば142名が対象となる すべき意見もある。外され の予防給付を対象から除外 論点とされている。 いて国の社会保障審議会で 険制度における軽度者につ 奥村町民生活課長 た場合町は平成24年度で見 軽度者

題は紙面の都合で割愛しま ※教育委員会制度の改正問

### 置を

# 病院内に

# 指定管理者と協議し します



大松紀美子 議員

として、よりいっそう信頼 民の安心・安全の拠点とし 病院が改築オープンし、町 される病院づくりが求めら ての期待が高まっています。 大松紀美子議員 鵡川厚生 地域住民のかかりつけ医

③木質ペレットの効果につ ②通所リハビリの利用状況 ①患者数の変化について

④25年度の損益見込みにつ

竹中ひろみ町民生活課主幹 ⑤基本理念と基本方針につ

①一日平均外来患者数は、

②通所リハビリは、週2回 ら6月の利用は4人。7月 月14人、5月18人です。 からは7人を見込んでいま 火曜日と木曜日で、4月か でマイナス4人です。 外来でマイナス8人、入院 4月82人、5月86人。 前年度年間平均比較では 一日平均入院患者数は4

いです。 画から損失交付金として3 千万円を見込んでいます。 ④指定管理者からの事業計

③木質ペレットの費用的効

果は現時点での判断は難し

⑤基本理念・方針ですが、 協同組合連合会及び鵡川厚 指定管理者北海道厚生農業

> 定めています 生病院において基本理念を

ど患者の動作に変化が見ら れています。 向上、入浴時間を楽しむな 改築で入院環境が改善さ トイレに向かう意欲の

います。 は1億3千万円と出されて の中では25年度の損益差額 が、厚生病院の改築計画書 大松議員 損益見込みです

A

どのようになるのですか。 25年度予算との比較では

内と考えています。 的な数値は1億5千万円以 竹中町民生活課主幹 最終

ます。 移は事業計画の中で把握を 了していますが、経費の推 していくことが必要と考え 改革プランは23年度で終

告書の公表についての考え ら見て、厚生病院の事業報 計画の評価と公表の観点か 大松議員 まちづくり基本

> と考えます。 の中で明らかになっていく 画を厚生病院の運営協議会 ちづくり条例に基づき、 奥村誠治町民生活課長 定管理者が運営する事業計 指 ま

討は。 望を直接寄せていただける 大松議員 「要望・意見箱の設置の検 町民の意見・要

管理者との協議を進めます 竹中町民生活課主幹 指定

# 防災・ 減災意識向上は行政主導で

用の検討はしていません。 保できる見通しになり、活

Q

### 自主防災組織づくりを進め、 対策は、自助・共助・公助を基本に 防災

大松議員

②防災・減災意識の向上に ①防災計画の見直しについ

すが。 ③津波避難場所として高速 報活動が重要と考えますが は、行政主導の説明会・広 道路の活用を提案していま

と対策は。 ④災害時の要援護者の把握

①昨年6月に見直された北 田口博総務企画課主幹

配布をします。 海道地域防災計画との整合 をはかり、計画を見直しま した。概要版を作成し町民

> 減災に向けた自助・共助・ 見直しました。 難、土砂災害対策を中心に 公助を基本とする、 今回の見直しは、 津波避 防災・

昨年は3回の研修会を実施 ②住民意識の向上のために 提供も行いました。 し、6回の広報による情報

り組みます。 制作りが促進されるよう取 町内会の住民相互の助け合 い組織、自主防災組織の体 今年度も、地域、 自治会·

害避難訓練を実施します。 駒場町内会での津波避難訓 今年度の防災訓練は若草 共和自治会での土砂災

> が、市街地は避難場所が確 がないため高台避難を検討 未満の浸水区域となります 地のJR南側が2メートル 津波浸水予測図では、市街 ③むかわ市街には高いビル しましたが、道が公表した

必要です。 め、スケジュールの変更が 提供するにはあらかじめ本 自主防災組織、民生委員に 者名簿は作成済みですが、 人の同意が必要になったた 法律の改正で個人の情報を 冨士隆久副町長 4要援護

共助・公助の基本と考えま く地域に伝え、地域が適切 な行動を図ることが自助・ 行政が持つ情報をいち早

と考えます。 拡大することが当面の課題 自主防災組織を強固にし

#### 計画 域 域 の思いをまちづくり のように

#### 野田 議員

世帯減少しています。 平成元年から約50世帯増加 世帯数では鵡川地区では、 地区でも減少していますが 野田省一議員 人口の推移は、 穂別地区では約160 穂別、鵡川 むかわ町の

らないと思いますが。 取り組んでいかなければな はなくて、それぞれ個別に 考慮し、これからのまちづ くりや、活性化策について、 一つの政策や、事業だけで これらの地域性の差異を 目標を具体的に示し

きな傾向であり、 の少子高齢化、 口の減少は、 阿部博之総務企画課長 全国的な地方 過疎化の大 本町も同 人

> めています。 齢化に伴う諸課題に立ち向 まえ、人口の減少や少子高 り計画では、この傾向を踏 様な傾向ですが、まちづく かうための視点と目標を定

> > 要だと思っています。

策の展開を図っていきたい ちづくり計画に基づき、 見については、今後は、 姿を検討し具体化すべき意 特性をより生かした目指す は、人口の減少から地域の と考えています。 地域の活性化策に関して 施 ま

の中で、 世帯の推移から地区別の目 野田議員 まちづくり計画 指す姿を、地域の皆さんが、 が示されたように、 地域別の目指す姿 人口、

> 理解していただくことが必 思うが、計画はどのように 解りやすいキャッチフレー キャッチフレーズは、それ 阿部総務企画課長 体化していく必要があると フレーズも町民の皆さんに 体的には、今後はキャッチ ぞれの地区にありますが具 くり計画の地区別計画の なっていますか。 ズ、目指す方向を共有し具 まちづ

化の手順、計画はどのよう 野田議員 まちづくり計画 の中のキャッチフレーズは に考えていますか。 抽象的なものですが、具体

概念に沿って実施計画の中 していきます。 で、予算も含めて細かく示 していくかは、この計画の に、どのタイミングで実施 阿部総務企画課長 地域計画についても、 具体的 地

を考えていきます。 域協議会に協議いただき具 んの気持に対応する仕組み 体的には、 今後町民の皆さ

> 惧されています。 職員がいなくなると最近危 ものです。穂別地域では20 役場職員の力は欠かせない ついて自助、 野田議員 地域の活性化に 年たったら穂別を熟知した 力が必要だが、公助として 共助、 公助の

卒者であれば、配属地域で 熟知した職員がいなくなる らず、地域の実情を身近に 域に配属されてくる職員が ことを意味しています。新 配属先の地域に居住してお それは、新卒者で穂別地

つくるなど、

考えていますので、配置さ 務は、地域の実情というも れた地域の中で居住をして うことが使命というふうに 用していますし、役場の業 住することを条件として採 ら職員の採用は、 を行政に生かしていくとい のを身近な形で感じ、それ 冨士隆久副町長 町内に居 今年度か

居住することに優遇措置を 取組が必要と

要な点だと考えています。

らし、メディアの活用につ 力隊について、ちょっと暮 ※この他に、地域おこし協 対応したいと考えます。 組み入れていくような形で きる範囲の中で、 今後も配慮しながら、 御意見を で

面の都合で省略いたします いて質問がありましたが紙



力をあわせて

いくということも非常に重

#### 貝会レポ



# 産業厚生常任委員会

所管事務調査

報告

#### 調査事項

#### プランについ 住宅マスター

### (調査の経過と報告) て

交換を行いました。 を行った後、質疑及び意見 に基づき所管課の説明聴取 プランについて、提出資料 としたむかわ住宅マスター 住環境の形成」を基本理念 に安心して快適に暮らせる 本件は、「みんなが安全

住宅の建て替えの推進など の施策として、住宅ストッ 等改修による住宅リフォー 耐震化の促進、太陽光発電 構成による住み替えの検討 クの仕組み作りのため世帯 石の実施。 ?検討されています。 計画を実施していくため 老朽化した公営

さらに医師や看護師等の

図っていきます。 宅環境の整備や子育て支援 医療関係者確保のための住 の移住・定住施策の促進を 住宅整備により、 町外から

宅では、入居後の負担が重 設を検討していきます。 担のかからない方法での建 後建設コストと入居者に負 くなる心配があるため、 がりに対してオール電化住 題などによる電気料の値ト また、近年エネルギー問

【調査の経過と報告】

検討が期待されます。 福祉施策と絡めた住環境の バーハウジング整備などの 高くなっていくなか、シル 備の実現や町の高齢化率が 本計画の明確な実施によ 既存住宅環境の早期整

査を終了しました。 を集約し、本件にかかる調 質疑の後、 各委員の意見

# 総務文教常任委員会

#### 状と課題について中高一貫教育の理 查事項

### て現

川高等学校にて連携型とし 及び意見交換を行いました 説明聴取を行った後、 提出資料に基づき所管課の な取り組みの概要について 育の現状と課題さらに新た て実施している中高一貫教 鵡川地区の中高一貫教育 本件は、鵡川中学校と鵡 質疑

の実施。 自由講座とサマースクール 各種検定などを選択できる 学習指導として音楽や美術 は昨年の11月現在で441 を受けているのは、 定を受けている。この指定 ています。前年度までは、 平成15年に連携型の指 全道では、8校となっ 進路指導としてア 、全国で

> 演会、専門学校の先生によ などについての中高合同講 夢を実現するための考え方 を実施しています。 る現実的な仕事の講演など スリートなどによる目標や

の負担が大きいなど、意見 する意識の違いや教職員へ ケートを行った結果、教職 保護者及び教職員にアン 母等から中高一貫教育に対 さらに中学・高校の生徒、 ため見直し委員会による会 機に根本的な見直しをする 平成24年度に10年経過を 中・高校の生徒及び父 各校での検討会の実施

が出されました。変更後は なっています。 を3期に分けて生徒が確実 柱に、中学・高校の6年間 リア学習」の2つを目標を に力をつけていける内容と 「ボランティア活動」「キャ

集約し、本件にかかる調査 質疑の後、各委員の意見を 向上を期待されています。 さらに地元高校への進学率 元の学校として特色づくり や教職員の負担の軽減、地 生徒自身の意識・意欲向上 を終了しました。 今回の内容変更により、



授業を終えて(鵡川高校)

# 報

を行いました。 地区で昨年に続き議会報告 全議員が二班に分れ町内2 報告内容は 4月25日26日の2日間

りです。 ③議会改革について ②子育て支援住宅について の対応については次のとお 主な意見、要望、その後

見もあり、次回に活かせる り前にしてほしいなどの意 開催時期を町の予算時期よ の選定や周知方法の改善に 昨年より大幅に増え、内容 よう今後も協議していきま 定の成果があったものの 議会報告会への参加者が

## 学校給食について

### 学校給食の概要は

センサスを得る予定。 でき、町民の皆さんのコン 基本設計が今年の秋頃に

穂別地区 16 30

維持管理費は 食育については 同じ時期に提示予定。

になる予定。 食をとおして実施すること 大切なことですので、給

①学校給食について

# 食物アレルギー問題は

を講じ防止できる予定。 地場産食材の活用は 近隣町と同じように対策

議会としても期待してい

を実施しています 議会として所管事務調査

# ついて子育て支援住宅に

議員発議予定。

直す条例案を6月定例会に

買取方式とした理由は トータルで全体のコスト

### ダウンが図られる 予定地の選定理由は

の活用ということで理解を 市街地の活性化、 空き地

> ないのでは は移住・定住の促進になら 八居基準に「18歳まで」で

を実施(継続)しています 策に結びつけて行きたい。 くことが大切。次の住宅施 の後の施策に結びつけてい 議会として所管事務調査 移住、定住の促進にはそ

## 議会改革について

議員定数について 定数を16人から14人に見

い人も議員になりやすい 生活できる報酬にして若

おりとする。 議会の答申を受け、 社会・経済状況や報酬審 現行ど

議会改革特別委員会で続

鵡川地区

後日行政担当課に確認その他 したもの

不足しており、鵡川市街地 なっている。子育て世帯向 は、ともに最重要課題と け住宅は、民間においても て支援住宅の優先順位は ケア付き介護住宅と子育 子育て支援と高齢化対策

ルバーハウジング等は今後 とも重要な課題としていま なお、介護付き住宅、シ

穂別地区の訪問介護ヘル スが受けられない パーが1人のためサービ

利用希望者については、 りの時間と経費等の負担が 離れているため、一件あた でも勤務可能とし、現在、 基準を廃止して、 準は25人。利用対象住宅が 道が定めるヘルパー定数基 所は1カ所となっており、 大きい。平成25年度より道 穂別地区の訪問介護事業 臨時職員

> 時の調整はあるものの、 員利用できるように改善し 全

20カ所あり「むかわ町防災 討していきます。 ら今後施設活用について検 豪雨などの避難経路などか 12施設が新耐震基準を満た ています。耐震診断の結果 いても、地域の実情や集中 しており、残りの施設につ 計画 資料編」に掲載され 穂別地区の避難場所は、

近接した土地が確保された

に認定こども園や小学校に

ため整備することとしまし

もって決定しているのか プロポーザルは、

ホームページで開示して

います。

http://www.

※ホームページアドレス

詳細はこちらから↓

朽化が進んでいるが、耐 穂別地区の避難場所の老

です。 り崩すことはできないもの うものは、使用することが できるが、それ以外には取 の取り崩しはできないか 工事代金の支払いに基金 town.mukawa.lg.jp 基金設置条例の目的にそ



活発な意見交換 (議会報告会)

議会報告会この他、参加者から多数のご意見があ レたが、紙面の都合上掲載できませんでした。<br/> くはホームページをご覧下さい。

#### 議長会定期総会 北海道町村議会

# 『住民の手が届く自治を』

題と合わせ、満場一致で採 講演が行われました。 前市長藤倉肇氏による記念 促進に関する特別決議」の の導入に反対する特別決 関する特別決議」、「道州制 決議と「TPP交渉参加に 社会の実現」外14件の一般 域の自主・自立性を高める 択されました。また、「地 いては、他地区の13件の議 議題「森林環境整備の充実 議会議長会から提出された と題して夕葉市議会議員・ 3件が採択され組織一丸と 議」、「北海道新幹線の建設 と林業の6次産業化」につ 了後、「夕張市財政破綻ど ことなりました。 総会の終 なり実行運動を展開するこ ん底からの立ち上り混乱の 議会、市民は」

# 北海道町村議会議員研修会

6 月 27 日 札幌市コンベンションセンター

さました。 4町村の議員が参加し開催 主催する議員研修会が14 研修会では、慶応義塾大 北海道町村議会議長会が

64回北海道町村議会議長会

6月5日に開催された第

定期総会で、胆振管内町村

の2名から講演がありまし 政治アナリスト伊藤惇夫氏 学法学部教授片山善博氏と

では、・地方分 に期待する」と題した講演 片山氏による「議会改革

> 講演では、現政権の現状 議院選挙後の政局や各政党 アベノミクスについて、参 政 薦めなどがありました。 いのか町政に対して改善策 の事務局を歴任しての政界 の聞き取りや、

の裏話などの講演でした。 局・政治展望」と題した また伊藤氏よる「今後の 通年議会の

(議会研修)

真剣なまなざし

◎むかわ建設協会 7月3日 (水)

まり、

議会運営

県庁改革から始 取県知事時代の 講演があり、鳥 7項目に分けた かれた議会など 議会・住民に開 事者を重視する 役割・現場や当 権改革と議会の

の課題やチェッ

引き続き開催されました。 テーマは「地域経済の振興」。 議員10名が出席し、 むかわ建設協会から16名 ・昨年に

9

を要望したら良

招いて意見を聞

議会に当事者を クする議会、又、

き町に対して何

前 議 会

出

◎むかわ環境整備事業 6月26日 (水) 開催 協同組合

9名が出席し開催されまし 協同組合から4名、 議員

なされました。 がなされ活発な意見交換が トプログラムの新たな提案 て頂けないか、又、アダプ 制度についてイニシャルコ 定について、今後インター 援住宅のプロポザール方式 含めトータルで民間に任せ スト・ランニングコストを きたい。PF-活用の住宅 ネットなどでも公開して頂 による業者の審査内容や決 意見交換では、子育て支

> 減少に伴い、 の建設業界の厳しい状況に 不足、技術者不足など町内 減少及び高齢化による人員 数年来の大幅な受注工事の ついて情報提供がありまし の不足、大型建設機械等の 若い労働者の

> > いについて検討して行きま 内容を整理し、その取り扱

ば地域が崩壊しかねない。 経路など整備の必要性。 ◇防災・減災のため、避難 の受注機会増を ◇町発注工事の町内業者へ の大切さの教育推進 ◇将来を担う子供に建設業 崩壊するようなことになれ ◇TPPには反対で農業が

る事項について、

町政及び議会活動に関す

お知らせ

付ております。 民と議会の意見交換) からは、随時出前議会 び町内に住所を有する法人 以上で構成する任意団体及 《詳しくは 原則5人 を受 町

議会事務局まで》



町民提案を受けて

(出前議会)

むかわ議会だより

第28号

りました。所管の産業厚生

など活発な意見交換があ

常任委員会では、

意見交換

中原准一名誉教授が地域経

題提起では、

酪農学園大の

また、各分野における課

# 丁中中心理論はつくらい

らし」と題して、食の安全 では、「TPPと私達の暮 50人が参加しました。 議員、農業関係者など約3 習会」が6月24日、苫小牧 久田徳二氏による基調講演 市民会館で開かれ消費者、 ついて今一度考える地域学 議長会主催の「TPPに 北海道新聞社編集委員の

> ベールに包まれた交渉であ 効後4年間は秘匿とされ、 があり、 だけの問題ではなく雇用や 済への影響について、農業 ることを指摘しました。 交渉内容は公表しない合意 医療など幅広い分野に及び、 交渉文書は協定発

年度活動状況 24

条例など) に対して異議を

SDS条項は国の主権に関 唱え訴えることができるー

わることとし、

国民生活に

多大な影響を及ぼすと指摘

しました。

#### ■本会議出席議員数、 ·般質問者数、 傍聴者数

問題点をあげました。 品添加物など輸入における や、BSE・残留農薬と食

特に遺伝子組み換え食品

題提起されました。

医療と保険などについて問

の法律や地方自治体の条例

さらに他国の企業が日本

(水源保全条例・産廃規制

	平成 24 年 4 月 1 日~平成 25 年 3 月 31 日							
	開催日	出席者数	質問者数	一般傍聴者				
6月定例会	6 月14日	16	6	3				
	6 月15日	16		1				
7月臨時会	7月11日	14						
9月定例会	9月12日	16	6	10				
9月足例云	9月13日	16						
12月定例会	12月13日	16	2					
	3 月10日	15	10	10				
3月定例会	3月11日	15						
	3月15日	15						

#### お詫びと訂正

議会だより27号に間違いがありました。 深くお詫び申し上げます。

◎訂正2、 3 ^ ジ予算額の見出し部分

総額122億 196万円 **総額122億<u>9</u>196万**円 正

#### ■各委員会開催日時、 出席回数

	a		開催日数	出席率	出席日数	
	会 議 名	委員数		山师学	議長	副議長
委員	①議会運営委員会	6人	8日	93.8%	8	8
	②総務文教常任委員会	7人	11日	89.6%	10	_
	③産業厚生常任委員会	8人	10日	92.5%	8	9
	④議会広報委員会	7人	12日	95.2%	_	12
	⑤決算審査特別委員会	14人	4日	100.0%	4	4
슾	⑥予算審査特別委員会	15人	3 日	93.3%	3	3
	⑦地域医療の充実・確保に関する調査特別委員会	15人	1日	100.0%	1	1
等	⑧議会改革特別委員会	7人	12日	91.7%	11	12
	9全員協議会	16人	7日	92.0%	7	7
	出席日数合計	_	68日	_	52日	56日
その他の活動	調査研修会等	_	5日※	_	9	4
	陳情要望	_	一日	_	1	_
	公共団体等の会合	_	2日※	_	11	3
	その他	_	8日※	_	174	21
	活動日数合計		15日※	_	195日	28日
 総 合 計		_	83日	_	247日	84日

頂 い た。 せて50人の町民の参加を 報告会には、2会場合わ 平成25年度4月の議会

識をもって注視しなけれ 環境の変化を、私たち 人ひとりがもっと危機意

ことか。 暖化は依然進行中という とが多くなった。地球温 ビや新聞で報道されるこ 録ということばが、テレ 原因究明もできていない 遅々として進まない。 から2年4ヶ月、復興は 3・11の東日本大震災 地球規模で起きている また、観測史上最大記 原発事故も収束せず、

編集後記

注

議長は、⑦⑨を除く委員会について構成員になってはいない。

委員会及びその他活動は同日開催、実施がある。 副議長は、①②⑧の委員会の構成員になってはいない。

※は議員の出席日数です。

議会広報委員

臨むことが不可欠だ。 向上に危機意識を持って 公開と、議員自らも資質

議会も徹底した情報の

対する視線も厳しい なったが、町民の議員に

活発な意見交換の場と

上 純